

令和2年1月17日(金)

独立行政法人国立女性教育会館

2019年度「学習オーガナイザー養成研修」実践研究・トークセッション

「地域づくりと学習オーガナイザーの役割」実践報告



広島版

学びから始まる 地域づくりプロジェクト について



ぱれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

社会教育主事 松田 愛子



広島県立生涯学習センターの概要

広島市中区千田町（県情報プラザ） H21～

移転前



執務室



広島県立生涯学習センターの5つの機能

調査研究

情報提供

指導者研修

モデル事業

市町・関係機関・団体等との
連携・協働

広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」(略称:ひろプロ) 支援事業

趣旨

地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である「公民館」(※)が、多様な主体と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域課題解決の活動を促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう支援する。

※「公民館」は、「コミュニティセンター」等の公民館類似施設を含む。

現状と課題

- 「高齢者の趣味・教養のたまり場」というイメージが定着し、利用が活性化していない。(利用者の減少・固定化)
- 多様な取組が行われているが、学びの成果を地域課題解決につなげる具体的な仕掛けやノウハウの蓄積がない。

→ 市町の取組格差あり

目指す姿

- 地域の多様な世代の人々(機関・団体等を含む。)が「公民館」に集い、豊かなつながりや学び合いが生まれている。
- 「公民館」がコーディネート機能を発揮し、住民の主体的な学びを通じた地域課題解決の取組を促進するための地域ネットワークの中核拠点となっている。

→ 市町の現状・課題に応じた県の支援

新たな取組の概要

- 住民の主体的な学びを通じた地域づくりの推進に向けて、社会や地域の課題解決と学びをつなげる「学習プログラム」のモデルを実証開発。

「ひろプロ」のコンセプト

- ① 広島モデルを実証開発(オール広島)
- ② 実践の拠点は「公民館」
- ③ アレンジ自由・成長性・発展性
- ④ 体験型・参加型・参画型
- ⑤ 連携・協働・共創

- プログラムをアレンジして各地域の実態に応じたプロジェクトをコーディネートできる人材(「公民館」職員等)を育成。

- 地域資源(社会資源)である「公民館」を活用し、行政(首長部局)や大学・企業・NPO、地域の関係機関・団体等の多様な主体と連携・協働しながら、地域住民が主体的に参画できる社会教育・生涯学習のプロジェクトとする。

- 県及び市町の「社会教育主事」がその役割を発揮し、専門性(有用性)を生かす仕組みを取り入れる。

→ 市町では対応困難な県域でのモデル的取組

具体的なイメージ

■ 「ひろプロ」の実証開発

◆ 地域の未来像を共有するための学びの場づくり

地域づくりワークショップ、まちづくり学校、まちづくりカフェ、地域のお宝発見、公民館エリア探検、ふるさとの未来・再考! フォーラム、これからの○○地区を考える会、未来づくりトークセッション...

◆ 地域の人材による家庭教育支援

子育てサロン・おしゃべりカフェ(地域の居場所づくり)、子育て講座(「親の力」をまなびあう学習プログラム講座等)、家庭教育支援チームの組織化、子育てサポーター・ファシリテーター等の地域の人材育成、子育てに役立つ情報の提供・啓発...

◆ 地域の人材による地域学校協働活動の推進

公民館等を拠点とした体制整備・仕組みづくり、学校支援活動(学習支援、学校環境整備、登下校の見守り等)、放課後子供教室、地域未来塾、地域の人材発掘・育成(研修、人材バンク)、地域住民の理解促進・ビジョン共有...

◆ 地域の人材による社会的包摂の実現

地域子供食堂、○○公民館カレーの日、ユニバーサルカフェ、できること持ち寄りワークショップ、地域支えあいプロジェクト、セーフティネット学習会、地域支えあいマップづくり...

◆ 地域防災・減災の仕組みづくり

関係組織のネットワーク化、避難所運営の仕組みづくり、防災ワークショップ、防災キャンプ、防災フェスタ、防災運動会、子供防災士養成講座、避難所開設訓練、防災「ひろしまプログラム」、「みんなで減災」一斉地震防災訓練、ハザードマップ作成...

◆ その他(地域資源を活用した地域課題解決・地域の人材育成)

若者やシニア世代の地域参画、地域行事活性化・地域の担い手育成、高齢者の健康・生きがいづくり、介護、多世代交流、グローバルリーダー育成、伝統文化継承、ふるさと教育、空き家対策、婚活支援、地域ブランド・特産品開発、コミュニティビジネス...

■ 学びを通じた地域づくりに関するコーディネート力の向上 (「ひろプロ」コーディネーター研修、モデル実践の支援)

- 「ひろプロ」の企画・調整・運営を務める職員対象の研修を実施
- 既存の「地域課題対応研修支援(訪問型研修)」の枠組を活用(拡充)し、市町の現状・課題に応じて、モデル実践を支援
- 「『ひろプロ』コーディネーターハンドブック」開発(調査研究)

■ 参加促進・成果発信・「公民館」のイメージ向上

- 事業成果発信による、新たな参加者層の巻き込み
- アイコン・イメージキャラクター等開発



「ひろプロ」マーク

現行の取組

公民館等活性化モデル事業 (H26~)

子供を含めた地域住民が公民館等に愛着と理解が持てるような活動に対して助成(企画の支援) 【主催:県公民館連合会】
→ 認知度向上・活用促進・情報充実

訪問型研修 (H28~)

各市町の課題に応じた研修の実施について、県の社会教育主事が訪問して支援
→ 研修が必要な市町への働きかけ

公民館等取組事例集 (H28~)

公民館等の取組事例を収集し、HPで情報提供
→ 新たな好事例の開発・支援

「ひろプロ」コンセプト

- ① 広島モデルを実証開発（オール広島）
 - ▶ 今、広島県の「公民館」がおもしろい！
- ② 実践の拠点は「公民館」
 - ▶ “公民館”も“コミセン”も
- ③ アレンジ自由・成長性・発展性
 - ▶ 地域オリジナルの未来を描く
- ④ 体験型・参加型・参画型
 - ▶ 住民の主体性や当事者性を育む
- ⑤ 連携・協働・共創
 - ▶ プラットフォームとして機能する場づくり



社会課題 地域課題

少子高齢化・人口減少
 (人生100年時代)
 地域の担い手不足
 防災減災
 環境・福祉
 産業・雇用
 家庭教育支援
 学校支援
 貧困・教育格差
 伝統文化継承
 グローバル化...

地域住民



大学・学校

地域住民



民間企業

課題解決

地域づくり
 コミュニティ
 の活性化

- 地域の課題や将来像を共有
- 地域課題解決学習で住民をエンパワメント

- 学びの成果を地域課題解決へ
- 住民主体の協働のまちづくり

集う 学ぶ 結ぶ

生涯学習・社会教育関係職員

NPO・
地域団体

首長部局等



地域住民

市町
職員
社会
教育主事

「公民館」
職員

県
センター
社会
教育主事

地域住民

「ひろプロ」コーディネーター

地域資源（社会資源）の活用
 (公民館, コミュニティセンター等)

地方創生

地域づくりのための
 新しいプラットフォーム
 としての
 「公民館」へ発展



※「公民館」は、「コミュニティセンター」等の類似施設を含む。


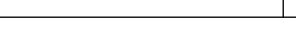
公民館等職員のコーディネート力の向上

【向上させたい能力】

- **地域の課題や将来像を共有し、地域住民が当事者意識をもって協働して地域課題解決学習に取り組むことができるよう、学びと活動が好循環する施策・事業を企画・実践する。**
- **人づくり・つながりづくりを通じた地域づくりの基盤を、他部局や多様な主体と連携・協働しながらともに構築する。**
- **地域内外の多世代・多目的・多様なたくさんの人や組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。**

研修プログラム

- 東部会場（世羅町） 7月19日（金） 10:00～16:30 世羅町東自治センター （39名参加）
- 西部会場（東広島市） 7月22日（月） 10:00～16:30 広島県東広島庁舎 （48名参加）

時間	内容	講師等
10:00～ 10:30	オリエンテーション ぱれっとカフェ	
10:30～ 12:00	【講義】 学びから始まる地域づくり	 広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学 教授 山川 肖美
	昼休憩	
13:00～ 13:30	【説明】 広島版「学びから始まる 地域づくりプロジェクト」	 広島県立生涯学習センター 社会教育主事 松田 愛子
13:30～ 16:25	【演習】 「ひろプロ」企画シートを 作成してみよう！	 【講評】 広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学 教授 山川 肖美
16:25～ 16:30	アンケート記入・事務連絡	

選択テーマ

③地域の人材による地域学校協働活動の推進

地域（市・町 地区）の概要や関係施策・事業の現状と課題分析

【記入例】

地域の現状・課題 (今の地域)	地域課題解決の方向性 (こんな地域にしたい)	既存（現在・過去）の施策・事業		地域の資源 (ヒト,モノ,コト,カネ…)	施策・事業の改善や 新たな取組の方向 (可能性)	
		地域課題に関連する 公民館等の施策・事業 (取組名,内容,成果・課題)	関連行政・学校・ 民間・団体等の施策・事業 (取組名,内容,連携の有無)			
<p>○少子化・核家族化の進展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口総数 ▲▲▲人 ・年少人口(割合) ▲▲▲人(▲%) ・生産年齢人口(割合) ▲▲▲人(▲%) ・老年人口(割合) ▲▲▲人(▲%) ・世帯数 ▲▲戸 ・一世帯当たり人員 ▲人 <p>○地域のつながりの希薄化</p> <p>○地域格差・経済格差の進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所数 <p>○学校を取り巻く問題の複雑化・困難化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 児童数 ▲人 ・中学校 生徒数 ▲人 ・高等学校 生徒数 ▲人 <p>○公民館利用の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間開館日数 ・主催講座数 ・利用者数(うち主催事業分) ・利用の実態(世代別利用割合,特色ある事業) 	<p>○住民参画による地域ビジョンの形成・共有</p> <p>○若い世代の地域貢献活動の活性化・世代間交流</p> <p>○学びを通して社会に主体的に関わり行動する人材の育成</p> <p>○地域と学校が連携・協働して地域で子供を育てる体制の整備</p> <p>○大人も子供も学び合い,育ち合う地域づくりの実現</p>	<p>○夏休み体験講座▲▲キッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の体験教室(活動…) ・参加者が集まらない ・学校との連携が希薄 <p>○学校の施設見学,体験学習の受け入れ</p> <p>○公民館まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館団体利用者の成果発表 ・参加者の減少,高齢化・固定化 ・担い手不足 	<p>○学校行事 (文化祭,運動会,防災訓練,地区懇談会)</p> <p>○地域主催事業 (文化祭,スポーツ大会,防災訓練,○○祭り)</p> <p>○▲▲課主催 (こども▲▲博士講座)</p> <p>○図書館主催 (読み聞かせ講座)</p> <p>○市政出前講座 (「親の力」を学びあう学習プログラム講座)</p> <p>○まちづくり協議会 (青少年部会)</p>	<p>【ヒト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民(キーパーソン,協力者) ○自治協議会 ○公民館団体利用者(サークル・クラブ等) ○小・中・高等学校(児童生徒,教職員,保護者(PTA)) ○民生委員,主任児童委員,保健師,保育士 ○老人会,女性会,子ども会 ○社会福祉協議会 ○農業関係団体 ○地元企業 ○NPO ○地域おこし協力隊 <p>【モノ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境 ○特産品,生産物 ○公共施設(集会所,公園) ○教育施設(公民館,学校,図書館) ○高齢者施設 ○幼稚園・保育所 ○文化財,史跡 ○商業施設,工業施設 ○地元商店 <p>【コト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境保全,防災・防犯,地域安全活動 ○郷土料理 ○伝統行事(祭り)○伝統芸能 ○観光 <p>【カネ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり支援事業補助金 ○自治協議会予算 ○▲▲助成事業 	<p>○学校や地域活動に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成</p> <p>○体験講座▲▲キッズの充実(地域資源の活用,地域課題発見・解決学習)</p> <p>○学校・公民館合同学習フェスタ(公民館まつりと合同実施)</p> <p>○「サテライト講座」の実施</p> <p>○学校の授業へ住民が参加</p> <p>○公民館の講座へ学校の授業の一環で子供たちが参加</p>	
		<p>【参考にしたい取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山陽小野田市教育委員会・中央公民館の実践事例(公民館を拠点とした地域学校協働活動) ○ひがしのキッズ(竹原市立東野公民館) ○さかわアドベンチャーパーク(チームさかわ) 				

◆テーマに関連して、地域の現状・実態等を把握し、できるだけ具体的に記載しましょう。(数値,データ,具体名称(事業名,組織名,名前等))
 ◆なるべくたくさん書き出してみましょう。その中から優先順位を付けて、今回のプロジェクト企画に生かすことができます。



プロジェクト名

★地域内外の多世代・多様なたくさんの人や組織がこのプロジェクトに関わってみたい、また、関わってよかったと思える魅力的なネーミングを考えてみましょう。

SDGsのアイコンは「国際連合広報センター」のHPからダウンロードできます。



地域の現状・課題（今の地域）

- ★地域の現状を、自治体・地域の各種計画（ビジョン）や統計資料、住民ニーズを踏まえて把握し、「生涯学習・社会教育」（学びから始まる地域づくり）の観点から、課題を整理してみましょう。
- ★日常生活の中で「困ったな」「地域社会がこう変わればもっと暮らしやすくなるのにな」と感じることは、広く「地域課題」と捉えられます。
- ★数多くある課題の中で、優先順位を付けることも大切です。

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ★「学びから始まる地域づくり」の視点で、プロジェクトの目的（課題解決の方向性）を位置づけてみましょう。
- ★地域ビジョン等で具体的に示されているものがあれば、そこから転記しても構いません。
- ★住民自らが、地域の課題や未来像（こんな地域にしたい）を描くことから始めるプロジェクトとすることもできます。

「持続可能な開発目標」(SDGs)の17のゴールの中から関連するものを選んでアイコンを付けましょう。

取組の概要

ポイント

- ① ★プロジェクトのポイント（特色、良い所、アピールポイント）を「3点」にまとめて、
- ② 簡潔に表現してください。
- ③

- ★プロジェクトの立ち上げは、全てをゼロからスタートする必要はありません。まずは、テーマに関わる既存（類似）の取組を収集・整理し、つなぎ合わせて、新しい「プロジェクト」の中に位置づけ直してみましょう。
- ★既存の取組を見直すなかで、これまで取り組んできたことの中に、新しい価値や意味を見出したり、「こうしたらもっといいかも」、「あの事業や組織とつなげたらもっと効果的かも」などの気づきが生まれたりするかもしれません。企画に取り入れてみましょう。
- ★地域の資源（ヒト・コト・モノ・カネ…）を有効活用するとともに、多様な主体と連携・協働し、ネットワーク型の視点で取組を進めていきましょう。
- ★住民の主体性や当事者性を育めるよう、「体験型・参加型・参画型」の学びや活動を積極的に取り入れましょう。

発展・継続・関連

- ★中長期的な展望のもとで、本プロジェクトの終了（3年程度を想定）後、どのように継続・発展させていくのか、未来の姿を描いてみましょう。

成果指標（目的の達成度、波及効果）

- ★上記の目的をどれだけ達成できたか、さらなる波及効果はあったのか、指標はできるだけ数値化（**定量評価**）し、客観的なものさしで評価できるようにしましょう。
- ★数字では表せない「質」に関する内容については、定性的に（**定性評価**）考えることで、つながり（関係性）や、意味、文脈などを明確にしやすくなります。

実施体制（連携・協力団体等）

- ★プロジェクトの主管（コーディネーター）は「公民館」（又は市町の所管課等）としてください。
- ★多様な主体がメンバーとして関わられるよう、実行委員会形式としても構いません。（実情に応じて検討してください、）
- ★地域内の既存の関係団体のほか、地域内外の多様な主体が関わり、住民の主体的・協働的な学びを通じた地域づくりが実現できるような実施体制を考えてみましょう。

運営財源・活動資金

- ★主催事業の予算のほかに、テーマに応じた助成金・補助金等の活用も検討してみましょう。
- ★「クラウドファンディング」等の活用を視野に入れてみる可能性もあります。
- ★県教育委員会HP「公民館等お役立ち情報」では、公民館等を拠点とした地域活動活性化の資金源となる「助成金情報」を紹介しています。

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

- ★中長期的な展望のもとで、3年程度を目安に「準備期（立ち上げ、チームづくり等）」「試行期（本格実施の前の試行実施）」「実施期（本格実施）」等に分けて、計画を立ててみましょう。PDCAサイクルを「見える化」しながら進めることで持続可能なプロジェクトが実現できます。

【分析シート】

選択テーマ

⑥その他、地域資源を活用した地域課題解決・地域の人材育成

地域（東広島市・福富地区）の概要や関係施策・事業の現状と課題分析

地域の現状・課題 (今の地域)	地域課題解決の方向性 (こんな地域にしたい)	既存(現在・過去)の施策・事業		地域の資源 (ヒト、モノ、コト、カネ…)	施策・事業の改善や 新たな取組の方向 (可能性)
		地域課題に関連する 公民館等の施策・事業 (取組名、内容、成果・課題)	関連行政・学校・ 民間・団体等の施策・事業 (取組名、内容、連携の有無)		
<p>○少子・高齢化、過疎 ・人口総数 2,368人 ・老年(65歳以上)人口 975人 ・高齢化率 41.2%(R1.5月末現在)</p> <p>○学校の状況 ・小学校数及び児童数 久芳小学校:52人 竹仁小学校:44人</p> <p>・中学校数及び生徒数 福富中学校:34人</p> <p>・社会教育関係施設 地域センター3地域3施設 生涯学習支援センター1か所</p>	<p>○高齢者の生きがい創出、健康づくり(健康寿命)</p> <p>○独居高齢者、高齢期の孤立化防止</p> <p>○地域住民の絆づくり、地域ネットワークの形成</p> <p>○高齢期の個人の自立と地域参画・社会貢献の仕組みづくり</p>	<p>○地元住民の参加が少ない</p> <p>○百歳体操…主として高齢者の健康維持等</p> <p>○夏休みを中心とした子ども向け講座の実施</p> <p>○地元講師を活用した講座の実施</p> <p>○地域住民の憩いの場づくり事業</p>	<p>・アクアフエスタ…10月開催</p> <p>・福富川まつり(久芳登立公園)…7月開催 実行委員会主催(久芳地区?)</p> <p>・敬老会(3地域合同で実施)</p> <p>・小中学校合同運動会…5月</p> <p>・1年生歓迎遠足(2小学校交流会)</p> <p>・学習発表会</p> <p>・図書館主催事業</p>	<p>【ヒト】 ○住民(講座講師経験者、地域内外で活躍されている方) ○自治協議会(久芳、竹仁、上戸野) ○地域センター団体利用者(サークル・クラブ等) ○小・中学校(児童生徒、教職員、保護者(PTA)) ○民生委員、主任児童委員、保育士 ○老人会 ○女性会 ○社会福祉協議会 ○農業関係団体(JA) ○地域おこし協力隊(2名)</p> <p>【モノ】 ○特産品(みそ、エゴマ、野菜、米等) ○シャクナゲ ○公共施設(集会所、県央の森公園、登立公園、市民体育館、多目的グラウンド、ダム等) ○教育施設(地域センター、学校、図書館) ○高齢者施設 ○認定こども園 ○星降るテラス ○道の駅 ○クロボヤ峡 ○しゃくなげ館</p> <p>【コト】 ○伝統行事(久芳大祭り、福富川まつり、アクアフエスタ) ○伝統芸能(福富源流太鼓)</p> <p>【カネ】 ○まちづくり支援事業補助金 ○自治協議会予算</p>	<p>○学びを通して社会に主体的にかかわり行動する人材の育成</p> <p>○持続可能な住民主体の学びの場づくり</p> <p>○地域住民の絆づくり、地域ネットワークの形成</p> <p>○高齢者の力を地域活性化に活かす</p> <p>○高齢者を講師とした子ども(親子)のための体験講座…学びの循環</p>
		<p>【参考にしたい取組】</p> <p>○滋賀県の「100歳大学」</p> <p>○立教セカンドステージ大学</p> <p>○神戸市シルバーカレッジ</p> <p>○東京都港区と明治学院大学連携 チャレンジコミュニティ大学</p>			

◆テーマに関連して、地域の現状・実態等を把握し、できるだけ具体的に記載しましょう。(数値、データ、具体名称(事業名、組織名、名前等))
 ◆なるべくたくさん書き出してみましょう。その中から優先順位を付けて、今回のプロジェクト企画に生かすことができます。





東広島100歳大学（仮称）in 福富プロジェクト

地域の現状・課題（今の地域）

- ・人口減少，超高齢化社会の進展（福富地区／高齢化率：41.2%）
- ・高齢者の生きがい創出，健康づくり（健康寿命）
- ・独居高齢者，高齢期の孤立化防止
- ・高齢期の個人の自立と地域参画・社会貢献の仕組みづくり
- ▶ 人生100年時代を見据えた，高齢者対象の学習機会の充実

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・体系的に「古い」の基礎・基本を学ぶ
- ・同年代の仲間をつくり，地域で生きる（地域の絆づくり）
- ・高齢者の主体的な学びの支援と「学びの循環」づくり（地域参画・社会貢献）
- ▶ 地域センターを拠点とした，高齢者対象講座の展開



取組の概要

- ポイント**
- ① 「教室」は住民に最も身近な学習・交流の活動拠点である「地域センター」（公民館）を活用
 - ② 「先生」は現場の実践家・専門家，企業・大学・行政など，地域の多様な主体・人材を積極的登用
 - ③ 「授業」は「講義」とともに現場での「体験」（実技，演習，対話，フィールドワーク）を豊富に
 - ④ 「カリキュラム」は住民（学習者）の参画による協働型学習プログラムとして開発
 - ⑤ 地域の学びのネットワークを支援するコーディネーター人材（生涯学習推進員）を育成・配置

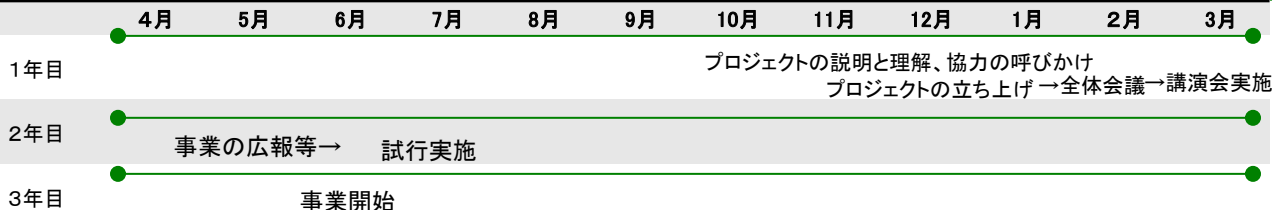
- 準備期**
- プロジェクトの周知と理解・協力の促進，ネットワーク・チームの組織化
 - ・地域センター，自治協議会ほか，関係団体（関係者）との連携，ネットワーク化に向けたコーディネート
 - ・プロジェクトチーム（運営委員会）の立ち上げ，企画調整会議
 - ・学びから始まる地域づくり講演会・ワークショップ

- 試行期**
- 「ふくとみ幸齢カフェ」（仮称）の試行実施
 - ・地域センターの既存事業（百歳体操，終活，料理等）と組み合わせ，“ふくとみ幸齢カフェ”（仮称）を実施
 - ・「100歳大学」の展開（学習プログラム開発，運営ノウハウ構築等）に向けた試行実施

- 実施期**
- 「東広島100歳大学・福富キャンパス」（仮称）の実施
 - ・運営委員会で開発したカリキュラムにより「100歳大学」を開講
 - ・認知症予防，特殊詐欺予防，福祉制度，地域参加，幸せづくりなど，老いを学び・備える講座を展開（「生涯学習まちづくり出前講座」と「サテライトキャンパス事業」の積極的活用）

発展・継続・関連

- ・受講修了者の主体的なプロジェクトの運営に向けた支援 ・事業（カリキュラム・運営）の改善・充実
- ・講師（地域人材）の育成と確保 ・協力団体等の連携の広がり継続 ・地域参画・社会貢献活動への支援



成果指標（目的の達成度，波及効果）

- 【定量評価】**
- ・講座の実施回数（※生涯学習推進計画評価指標）
 - ・講座参加者数
 - ・今後の生活に役立つ新たな知識等を得られた人の割合
 - ・この地域で暮らし続けたいと実感した高齢者数

- 【定性評価】**
- ・地域内ネットワークの構築
 - ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

- 【連携】**
- ・福富生涯学習支援センター（プロジェクト主管）
 - ・福富町内の地域センター
 - ・各地区自治協議会
 - ・東広島市教育委員会生涯学習課
- 【協力】**
- ・地域おこし協力隊 ・東広島市役所福富支所
 - ・社会福祉協議会 ・福富図書館

運営財源・活動資金

- ・生涯学習支援センター及び地域センター主催講座の講師謝金

研修の効果測定

令和元年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
【広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修】(実行)

事前準備シート(事前アンケート)

★受講者記入欄 ※このシートは直属の上司と話し合いの上、記入してください。

所属	ふりがな
職名	氏名

1 あなたのこれまでの生涯学習振興・社会教育関係職員としての業務経歴をお答えください。(平成(いずれかの番号を空欄に記入してください))

1	2	無	「1」と回答をされた方のみ、経歴年数(通算)をお答えください。	年
---	---	---	---------------------------------	---

2 社会教育主任用資格

1	有
---	---

3 学習プログラム開発(該当の枠に✓を記入してください)

県「学習プログラム研修」
 「その他(国・市町で実施)」

4 本研修では、次のような等についてお答えください

令和元年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
【広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修】
振り返りアンケート

名前

Q1 研修の内容の達成度をかっこの中の1~4から選び、その番号を「達成度」欄に記入し、その理由を具体的に記入してください。

講義「広島版「学びから始まる地域づくり」について内容を理解することができた」(1: おおいにできた 2: できた 3: あまりできなかった 4: できなかった)

達成度 [理由]

令和元年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修

フォローアップアンケート

★受講者記入欄 ※このシートは、直属の上司と話し合いの上、記入してください。

所属	ふりがな
----	------

【受講者の感想】

- 様々な**地域課題を共有**し、**住民が当事者意識をもって**取り組めるような学習や活動の機会を提供していくことが大切だと思いました。
- **多様性を受け入れ、オープンでフラットなプラットフォーム**として機能する公民館にしていくことの意義や重要性に気が付きました。
- 人口動態など、**地域の現状を細かく分析**することで**地域の資源や課題を再認識**できました。**書き出すことで見やすくなり**新しい発見がありました。
- 個々の学びも大切な一方で、**他者との交流や協働の場において新たな価値が生まれ**、地域の原動力となっていくという視点に気が付きました。
- これまで**中長期的な視点で事業を企画実践**したことがありませんでしたが、懸案の防災について近いうちに社協と協力して取り組んでみようと思います。
- 「地域づくり」において、「学び」は、**敷居が低くて誰でも入れる(入りやすい)プラットフォーム**であることを再確認しました。

本研修のねらい(同じ)

①	地域の課題や住民が当事者意識で地域課題解決できるような学び機会・事業を企画・実施する
②	人づくり・つながりづくりの基盤を、と連携・協働する
③	地域内外の多様な人や組織が参加し、フラットなプラットフォームを提供する

5 4の「本研修のねらい」2

本研修で企画シートを作成

- ①地域の未来像を共有する
- ②地域の人材による家庭教育
- ③地域の人材による社会教育
- ④地域防災・減災の仕組みづくり
- ⑤地域防災・減災の仕組みづくり
- ⑥その他、地域資源を活用し

6 日常の業務を遂行するお答えください。

③ 組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。

Q4 今回の研修を通しての意見や感想等があれば、記入してください。

<input type="checkbox"/>	会議・研修等での報告
<input type="checkbox"/>	その他

3 この研修に関連して、成果や課題、気付き、御自身の変化や工夫したことなど、意見や感想等がありましたら記入してください。

・ **仕事や活動への役立ち感 ▶ 100%**

